

第 121 回日本養豚学会大会プログラム

研究発表 1 題 講演 12 分
討論 3 分

10 月 31 日 (1 日目)

9:30 開会・挨拶

東海大教授 河原崎 達雄 大会委員長
美川 智 会長

9:40 若手優秀発表賞登録演題

(対面講演)

1. (9:40) ガラス化法によるブタ精子の凍結保存
ー凍結時の温度と精液量の影響ー 1
○三浦 咲・上野賢也・塚本悠介・河原崎達雄
(東海大農)
2. (10:00) 母豚における体温計測用給水器の開発 2
○山根晟之¹・李 根浩¹・小坂昭三²・壺岐侑佑²・高橋京史²
(¹ 宮崎大工, ² 宮崎畜試川南)
3. (10:20) 行動・姿勢指標を用いた豚の分娩検知精度の検討 3
○石井彩夏¹・江川紗智子¹・徳永忠昭²・坂本信介²・右京里那²・
橋本果林³・宮野大輝³・杉浦陽介⁴・平山祐理¹
(¹ 家畜改良セ, ² 宮崎大農, ³ 石川農研畜試, ⁴ 埼玉大工)
4. (10:40) ICT 技術を活用した豚の個体管理システムの開発 4
○中野剛弥¹・赤尾友雪²・朝日 基³・丹沢 勉¹
(¹ 山梨大院医工農, ² 山梨畜産課, ³ 山梨畜酪セ)

11:00 一般研究発表

(対面講演)

5. (11:00) PigSAFE におけるバークシャー種繁殖雌豚の行動に関する研究
(予報) 5
○徳永有輝¹・木本遥己²・清水杏樹³・山中 猛⁴・稲永敏明³・伊藤秀一³
(¹ 東海大院生物, ² 東海大院農, ³ 東海大農, ⁴ 東海大農教実習セ)

6. (11:20) 体温計測用給水器を用いた発情前後における
豚の口腔温と飲水行動の変化 6

○高橋京史¹・壺岐侑祐¹・小坂昭三¹ 李 根浩²・
山根晟之²・古閑 軸²・久峩道太²
(¹ 宮崎畜試川南, ² 宮崎大工)

7. (11:40) 生産農場において飼養されている肥育豚の
死亡前 24 時間における行動の調査 7

○岡安将晃・佐々木羊介
(明大農)

12:00～13:30 休 憩

12:00～13:10 理事会

13:30～16:00 公開シンポジウム

「我が国における豚人工授精技術の現状と展望」

趣旨説明・座長 河原崎達雄 (東海大学農学部)

13:35～14:05

1. 沖縄在来豚アグーの通年的増殖と遺伝資源保存に必要な人工授精を始めとする
繁殖技術の確立
～約 20 年間に及ぶアグーとの対峙を通して～

建本秀樹 (琉球大学農学部)

14:05～14:35

2. 人工授精を活用した豚の改良増殖とエコフィードによる高品質豚肉生産
～熊本農業高校とのコラボによる地域ブランド“くまもとの赤ぶた”の生産と普及～

淋 博道 (淋種豚場代表)

14:35～15:05

3. 種豚会社における自動精液採取システムの活用
～株式会社シムコの事例～

富山雅光 (株式会社シムコ技術部)

15:05～15:35

4. 精子の運動・代謝機構解析から人工授精技術開発, その実学展開まで

島田昌之 (広島大学大学院統合生命科学研究科)

15:35～16:00

総合討論

16:15 一般研究発表

(リモート講演)

8. (16:15) タモギタケ廃菌床添加飼料給与がブタの発育・産肉に及ぼす影響…… 8

○山田未知¹・小柳穂奈乃¹・高見怜凌¹・石田真己²・林田 茂²・長谷川靖洋¹・

岩崎智仁¹・前田尚之¹・土井和也¹・西寒水将¹・中辻浩喜¹

(¹酪農大, ²スリービー)

(対面講演)

9. (16:35) 地域資源を活用したアミノ酸バランス改善飼料の給与が

肥育豚生産に及ぼす影響…………… 9

○三角久志・甲斐敬康

(宮崎畜試川南)

17:30～19:30 研究交流会

11月1日(2日目)

10:00 一般研究発表

(対面講演)

10. (10:00) 系統豚維持群における繁殖能力改良および近交度上昇抑制

—育種価による選抜と群間血縁交流が維持群の改良に及ぼす影響—… 10

○甲田洋子¹・齋藤早春¹・小泉 徹¹・昆野大次²

(¹道総研畜試, ²道総研酪農試)

11. (10:20) デュロック種系統豚「しもふりレッド」における
近交度の上昇及び世代経過が繁殖性に及ぼす影響…………… 11
○庄司宙希¹・高森広典²・曾地雄一郎¹・高橋伸和¹・
中條 満³・須田義人⁴・岡村俊宏⁵
(¹宮城畜試, ²宮城北部家保(現), ³宮城栗原農改(現),
⁴宮城大, ⁵農研機構畜産部門)
12. (10:40) 肉質の改良が可能となる 1 塩基多型の探索…………… 12
○新居雅宏・武田真城・飯塚 悟
(徳島農林水産総技セ)
13. (11:00) PMWS が流行した豚群における NOD2 遺伝子型の違いによる
経済損失の試算について…………… 13
○鈴木香澄^{1,4}・吉岡 豪¹・新開浩樹²・伊藤智仁³・
傍島英雄¹・清水雅範¹・北澤春樹⁴・上西博英⁵
(¹岐阜畜研, ²農研機構動衛研, ³家畜改良事業団, ⁴東北大, ⁵農研機構生物機能)
14. (11:20) 一貫経営農家の母豚における抗病性 DNA マーカー多型と
豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS) 抗体価および
繁殖形質値との関連について…………… 14
○吉岡 豪¹・鈴木香澄^{1,4}・新開浩樹²・伊藤智仁³・
傍島英雄¹・清水雅範¹・北澤春樹⁴・上西博英⁵
(¹岐阜畜研, ²農研機構動衛研, ³家畜改良事業団, ⁴東北大, ⁵農研機構生物機能)
15. (11:40) 豚舎内における乾球温度と相対湿度を用いた
暑さ指標 (WBGT) の推定 …………… 15
○岡村俊宏・福澤陽生・西尾元秀・石井和雄
(農研機構畜産部門)

12:00 閉会挨拶 (副会長)